

行政改革アクションプランの「赤羽根図書館の複合化の検討」とは

施設間のネットワーク強化など、複合化による相乗効果を生み出すような検討をしていくこと



内藤 喜久枝

自由民主党田原市議団



市民サービスの充実に向けた公共施設のあり方について

問 親子交流館は子育て世代包括支援センターとしての役割を担っているが、今後の管理運営方法は。

答 相談に関する業務はプライバシーに係わる情報が多くあり、医療機関などと連携した、迅速できめ細やかな支援体制が大変重要になることから、現時点では市が直営で運営を行っている。

問 行政改革大綱アクションプランでは親子交流館の運営管理に民間事業者の活用を検討するとしているが、その状況は。

答 遊び場コーナーの管理、講座の開催など、民間と共同で実施するメリット・デメリットを考え、市民サービスの質の向上やコスト削減を踏まえ、魅力がより高まる管理運営方法を検討している。

問 市民が、読む楽しみ、学ぶ喜び、望む知識や必要な情報の入手ができる施設である図書館の今後の考え方は。

答 市民の課題解決支援や電子資料の提供などの充実、また、ふるさと教育の振興も重点的に取り組んでいく。

問 行政改革アクションプランの「赤羽根図書館の複合化の検討」とは。

答 今後、他の施設との複合化により、施設間のネットワーク強化や市民の利便性向上など、複合化による相乗効果を生み出すような検討をしていくこと。

問 赤羽根図書館の複合化を進めるに当たり、市民の声を広く聞く機会はあるのか。

答 社会教育審議会や図書館協議会などにおいて、市民や利用者の意見を聞き、検討していく。



令和2年11月1日付で、「かがやき」から「自由民主党田原市議団」に異動しました。

※1 大規模災害の発生や大幅な税収減に備えるなど、年度間の財政の不均衡を調整するために積み立てる基金
※2 道路、公園、学校、市営住宅の建設などに要する経費

第4次 田原市行政改革大綱 挑戦と共創 未来につながる改革



田原市

問

ぶき算定した額を、特例的に借り入れができる赤字地方債であり、こういった制度を有効活用し、財政調整基金の残高を確保していきたい。

答

コロナ禍の影響で厳しさが増すであろう予算編成に向けて、投資的経費（※2）の考え方は。投資的経費は、地域の活性化、災害対応など、地域の持続可能性を高める必要不可欠なものと認識している。国の政策に基づいて国・県の補助制度が有効活用できるものについては、積極的に推進していく。市債の借り入れ、財政調整基金を始めとする各種基金の活用により、コロナ禍にあっても、必要な投資的経費の規模を確保していきたい。